

令和  
5年

# 森の子学校 プログラム実践協力校

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



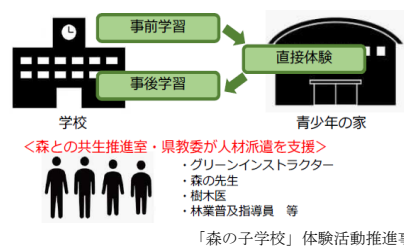
環境  
教育

SDGsや環境教育の  
実践を目指す学校に

# 募集

県内15校程度

2022年度から、県立青少年の家での宿泊体験学習や校外学習(バス遠足・社会見学・宿泊研修など)を行う学校の森林・林業教育の推進の支援をはじめました。この「森の子学校」体験活動推進事業は、学校教育と連動した事前学習、直接体験(青少年の家での活動)、事後学習からなる学習プログラムを実施することにより、次世代を担う子どもたちへの森林・林業教育の推進を図ることを目的としています。大分県では、子どもたちに大分の森林・林業について理解を深めてもらうため、学習指導要領(小学校5年社会科・中学校技術家庭科等)に沿った大分県森林・林業デジタル副読本も作成しています。SDGsや環境学習の推進の観点からも是非ご申請ください。



香々地青少年の家ホームページ <https://www.pref.oita.jp/site/kakaji/>

九重青少年の家ホームページ <https://www.pref.oita.jp/site/kokonoe/> をご覧ください

Q  
&  
A

やってみたいが条件が……

- Q1:教材探しが難しい。
- Q2:指導は誰がする?
- Q3:バスや講師の予算は?
- Q4:学校の成果発表は?

学校の不安にお答えします!

- 昨年度副読本を作成しました。
- 県教委が講師派遣します。
- バス代講師謝金は県が負担します。
- 成果のまとめは県が行います。



学習プログラム(例)

専門的な知識と経験を有する指導者によるプログラム実践

森の探検

豊かな森の生き物たち

つながる 森と海とわたし

災害に強い森林づくり

JUMOKU<樹木>ラリー  
ネイチャービンゴ

ウォークラリーでフィールド内を巡り、主な樹木の名前や特徴を調べるときの活動

ビンゴの要領でタテの列やヨコの列のマスに書いてあるものを探しながら自然の中を歩き回る

S A

森の中の土壌生物の実態双眼顕微鏡(フィールド用ネイチャースコープ)による観察  
森林や生き物の生態系での役割について理解を深める活動

- ・しいたけのコマうち体験
- ・シイタケ菌の観察
- ・昆虫採集・野鳥観察
- ・ジビエ料理体験

S T

木工体験、間伐材クラフト体験と森林を活用した年輪観察、地形観察・調査等を通して、森林の役割や海とのつながりについて理解を深める活動

- ・林業と漁業とのつながり
- ・生活の中の木材の利用
- ・わたしたちの未来と「森林」

T A M

丸太切り体験、間伐体験、下刈り体験を通して、災害に強い森林の整備について、関心を高める活動。

- ・自然災害の多発
- ・林地崩壊・風倒木被害
- ・保安林・間伐・伐採の役割
- ・生産林と環境林の目的

S T M



ステップ①  
森に触れ親しむ活動



ステップ②  
森を学び理解する活動



ステップ③  
森づくりを体験する活動